

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年9月13日

対外セクター概況 - 2021年7月

概要

2021年7月、貿易赤字は前年同月比で拡大。輸出収益は前年同月比で増加したが、輸入支出がそれ以上に増加し、貿易赤字は5か月連続で拡大。国外労働者からの送金は前月に続き減少、観光部門収益も最小水準にとどまった。一方、債務返済は問題がない実績を継続し、2021年7月に満期を迎えた10年満期の国際ソブリン債（ISB）10億米ドルを決済。政府証券市場への外国人投資はわずかな純流出、コロンボ証券取引所（CSE）への外国人投資は当月も純流出を記録。インターバンク市場の平均スポット為替レートはおおむね安定。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 7月 100万米ドル	2021年 7月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~7月 100万米ドル	2021年 1~7月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	1,085	1,104	1.7	5,498	6,803	23.7
商品輸入	1,294	1,710	32.2	8,968	11,725	30.7
貿易収支	-209	-607		-3,471	-4,922	
観光収入	-	3	-	682	26	-96.2
国外労働者からの送金	702	453	-35.4	3,682	3,778	2.6
CSEへの純流入	-18	-41		-129	-165	
政府への総流入	102	55		1,315	1,233	
国債	1	1		91	16	
長期ローン	101	54		1,224	1,218	
外国直接投資（総額）				188	198	
合計				-939	-2,755	

出典：スリランカ税関当局（SLC）、スリランカ観光開発委員会（SLTDA）、コロンボ証券取引所（CSE）、スリランカ投資委員会（BOI）、スリランカ中央銀行（CBSL）

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

貿易収支：貿易赤字は、前年同月の 2.09 億米ドルに対し、6.07 億米ドルに拡大。2021 年 1～7 月累計の貿易赤字も、2020 年同期の 34.71 億米ドルから 49.22 億米ドルに拡大。主な要因は図 1 のとおり。

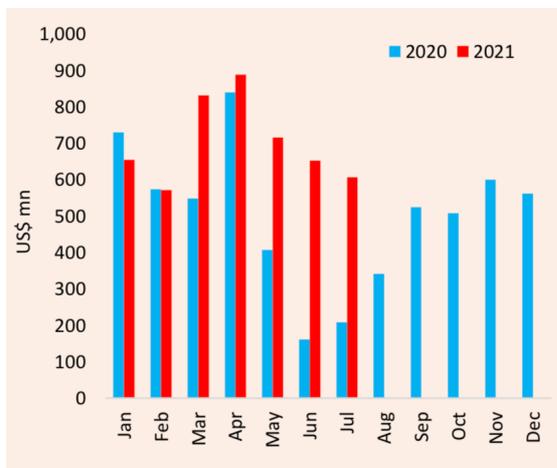
貿易指標：貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸入価格の上昇が輸出価格の上昇を上回り、前年同月比で 11.6%悪化。

図 1：2021 年 1～7 月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



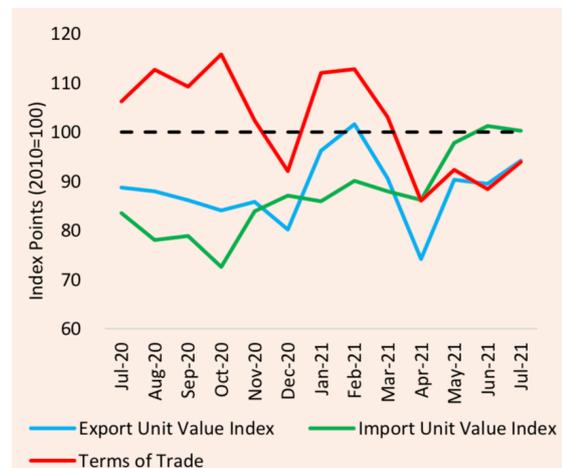
出典：SLC、CBSL

図 2：月別貿易赤字（2020～21 年）



出典：SLC、CBSL

図 3：貿易指標（2020～21 年）



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸出

輸出全般：2021年7月の輸出はパンデミックのなか好調に推移。前年同月比1.7%増の11.04億米ドル。2021年1～7月累計輸出収益は、前年同期の54.98億米ドルに対して68.03億米ドル。

工業製品輸出：工業製品輸出収益は前年同月比1.1%増、主に石油製品、機械・機械器具（主に部品や電子機器）、ゴム製品（主にタイヤ、手袋）が増加。石油製品輸出額増加は、バンカー燃料の単価と供給量の上昇による。前年同月比で減少したのは、食品・飲料・タバコ（主に諸食品調理品）、繊維衣料品（主にフェイスマスク）、プラスチック関連品。繊維衣料品の輸出は、前年同月比でEU・イギリス向けが減少したが、アメリカとその他地域向けは増加。

農業品輸出：農産品輸出収益は前年同月比2.3%増。水産物（生鮮・冷凍マグロ、魚切り身、エビ、クルマエビなど）やスパイス（シナモン、コショウ、クローブ、ナツメグ、メースなど）が増加。一方、紅茶は数量・単価とも減少、輸出額は大幅に減少。また、レンズ豆やアルカナッツの輸出が減少し、野菜や小規模農業品の輸出も減少。

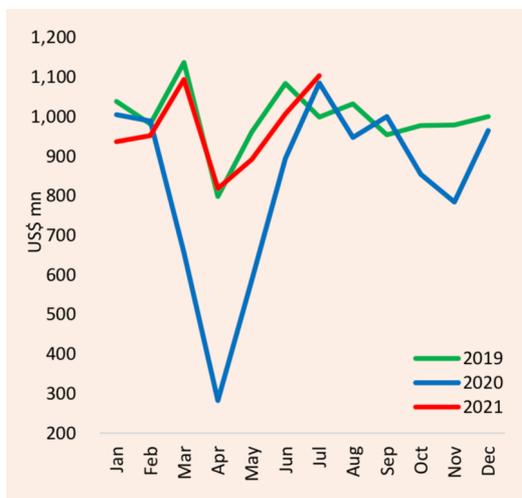
鉱物資源輸出：鉱物資源輸出は花崗岩、石英、ジルコニウム鉱石などの輸出が減り、前年同月比6.9%減。

輸出指標：前年同月比で輸出量指数は4.2%減、単価指数は6.1%増。前年同月比での輸出額増は輸出量の減少を上回る価格上昇の影響であることがわかる。

【仮訳】

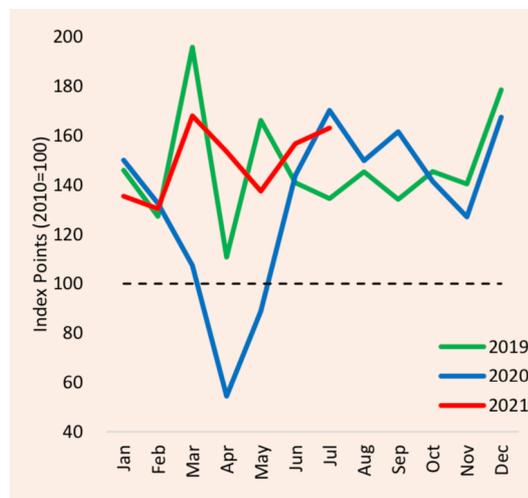
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

図 4：月別輸出実績



出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 7月 100万米ドル	2021年 7月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～7月 100万米ドル	2021年 1～7月 100万米ドル	推移 (%)
1. 工業製品輸出	819.3	828.7	1.1	4,176.5	5,236.4	25.4
食品・飲料・タバコ	64.3	48.5	-24.6	262.2	296.5	13.1
動物飼料	18.7	13.2	-29.6	67.9	72.0	6.1
繊維衣料品	469.2	454.1	-3.2	2,413.0	2,941.5	21.9
衣料品	404.3	415.5	2.8	2,138.5	2,683.0	25.5
生地	26.5	27.6	4.2	132.4	184.2	39.1
その他繊維衣料品	38.3	11.0	-71.2	142.1	74.4	-47.7
ゴム製品	82.2	93.4	13.6	417.9	593.1	41.9
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	17.7	24.1	36.6	90.4	156.3	72.9
機械・機械器具	32.0	45.8	43.4	178.4	288.0	61.4
輸送用機器	8.2	10.6	28.4	39.1	65.3	67.1
石油製品	26.7	52.0	94.7	246.2	248.6	1.0
化学製品	16.6	17.4	4.7	91.9	127.0	38.1
木材・紙製品	10.9	11.3	3.6	55.4	72.0	30.0
印刷業製品	6.3	3.0	-51.8	21.4	29.3	37.3
皮革・旅行品・履物	6.4	5.4	-15.1	32.5	28.0	-14.0
プラスチック関連品	22.2	7.2	-67.7	48.9	44.7	-8.5
ベースメタル関連品	10.1	11.4	13.0	65.5	84.5	29.0
セラミック製品	2.4	4.0	66.0	11.5	21.6	88.2
その他工業製品輸出	25.5	27.3	6.8	134.3	167.9	25.1
2. 農産品輸出	261.2	267.1	2.3	1,300.1	1,526.0	17.4
紅茶	130.9	115.1	-12.1	702.6	765.7	9.0
ゴム製品	2.9	3.3	12.3	16.4	23.5	43.9
ココナッツ	40.8	40.6	-0.5	187.6	236.9	26.3
スパイス	40.9	45.8	12.0	154.8	242.7	56.8
野菜	7.1	4.0	-43.9	21.0	16.2	-23.0
非加工タバコ	2.5	2.7	6.7	12.0	18.8	56.4
小規模農産品	17.5	15.1	-13.6	88.2	75.5	-14.4
海産物	18.5	40.5	119.1	117.6	146.9	24.9
3. 鉱物資源輸出	2.9	2.7	-6.9	12.6	27.6	118.2
4. 非分類品輸出	1.6	5.0	212.6	8.6	12.5	46.4
輸出合計	1,085.0	1,103.5	1.7	5,497.8	6,802.6	23.7

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸入

輸入全般：2021年7月の商品輸入支出は、前年同月の12.94億米ドルから32.2%増の17.10億米ドル。輸入額増は、一部輸入規制が継続されるなかだが、消費財、中間財、投資財の全主要カテゴリーで見られた。2021年1～7月累計輸入収益は、前年同期の89.68億米ドルに対して117.25億米ドル。

消費財：食品・飲料は、主に砂糖、粉ミルク、海産物の輸入減により前年同月比で9.4%減少。一方、ココナッツオイル、野菜（主にニンニク、ダール、ヒヨコ豆、赤タマネギ）、スパイス（主に唐辛子）など一部の食品・飲料の輸入額は増加。非食品消費財は、全サブカテゴリー（輸入制限を受ける個人用車両を除く。）で広範囲に増加し、41.0%増。主に医療・医薬品（主にワクチン）、家電製品（主にテレビ）、ゴムタイヤによる。通信機器の輸入額はわずかに減少。

中間財：前年同月比で33.8%増加、ほとんどの主要カテゴリーで増加。ベースメタルは鉄・鋼鉄が増加、輸入額の絶対的増加率が最も高く。燃料輸入は、石油精製品と原油の輸入量は減少したが単価が上昇し、前年同月比で27.8%増加。原油1バレルあたりの輸入額は、前年同月の46.23米ドルに対し68.92米ドルだった。また繊維および繊維製品の輸入額も大幅に増加。

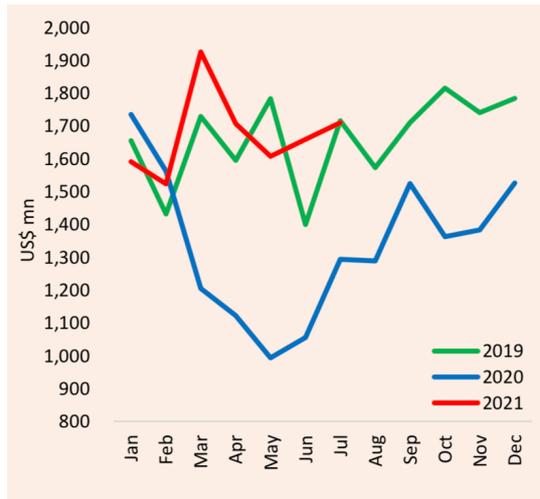
投資財：機械設備、建設資材、輸送用機器の主要カテゴリーのほぼすべてのサブカテゴリーで大幅に増加し、前年同月比42.4%増。一方、セメント輸入額はほぼ半減。セメントの国内生産量は、輸入規制が実施された2020年半ば以降高水準で推移。2021年6月に規制が緩和されたものの、ロックダウンのなかでも建設活動は継続され、依然として高い水準を維持。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

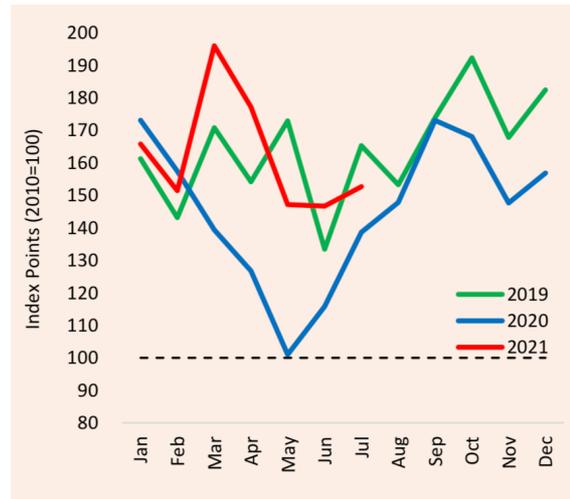
輸入指標：前年同月比で輸入量指数は 10.1%増、単価指数は 20.1%増。前年同月比での輸入額増は輸入量と価格の上昇の双方の影響であることがわかる。

図 6：月別輸入実績



出典：SLC、CBSL

図 7：月別輸入量指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 7月 100万米ドル	2021年 7月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~7月 100万米ドル	2021年 1~7月 100万米ドル	推移 (%)
1. 消費財	289.6	342.7	18.3	2,071.7	2,255.0	8.8
食品・飲料	130.2	117.9	-9.4	917.5	1,032.8	12.6
穀類・精米製品	1.3	2.4	92.7	18.0	22.1	22.3
乳製品	24.8	16.2	-35.0	205.9	200.6	-2.6
野菜	25.6	31.5	22.7	228.0	242.6	6.4
海産物	19.3	15.0	-22.3	126.8	67.7	-46.6
砂糖・菓子類	27.7	1.4	-95.0	144.1	208.1	44.4
スパイス	8.5	12.3	45.8	76.2	80.8	6.0
その他食品・飲料	23.0	39.1	70.3	118.5	211.0	78.0
非食品消費財	159.4	224.8	41.0	1,154.2	1,222.2	5.9
個人用車両	6.1	2.3	-62.1	279.5	6.7	-97.6
医療・医薬品	63.0	105.3	67.2	337.7	433.5	28.4
家電製品	8.8	24.0	173.1	91.8	163.3	77.9
衣類アクセサリ	13.4	14.9	10.8	124.4	120.2	-3.4
通信機器	45.6	45.0	-1.3	146.9	250.3	70.3
家庭用品・家具	10.6	12.4	16.8	81.1	90.1	11.1
その他非食品消費財	11.8	20.8	76.5	92.8	158.1	70.5
2. 中間財	734.3	982.3	33.8	4,901.1	6,932.4	41.4
燃料	200.3	256.0	27.8	1,443.7	2,043.2	41.5
うち 原油	67.0	91.8	37.0	318.3	408.8	28.4
精製石油	130.6	159.8	22.4	996.2	1503.3	50.9
石炭	2.8	4.5	62.7	129.2	131.2	1.6
ダイヤモンド、貴石、貴金属	10.3	12.7	23.3	49.5	74.9	51.4
繊維及び繊維製品	197.1	251.2	27.4	1,262.8	1,702.3	34.8
紙及び板紙、関連製品	33.8	40.6	20.1	208.9	282.0	35.0
農業資材	16.1	26.3	57.1	117.9	162.2	37.6
小麦・トウモロコシ	26.8	26.3	-1.7	183.3	210.9	15.1
ベースメタル	36.4	105.2	189.2	207.6	459.7	121.4
プラスチック及び関連品	46.6	60.4	29.5	275.0	464.1	68.8
化学製品	74.1	85.1	14.8	453.0	652.5	44.0
肥料	9.1	5.6	-38.6	116.1	103.0	-11.2
ゴム及び関連製品	18.6	31.1	67.3	128.8	230.4	78.8
鉱物製品	14.8	13.3	-10.0	93.3	88.4	-5.3
その他中間財	50.3	69.3	38.0	361.2	458.8	27.0
3. 投資財	269.1	383.2	42.4	1,984.3	2,530.6	27.5
機械設備	157.0	232.0	47.8	1,147.0	1,598.5	39.4
建設資材	94.2	104.8	11.3	589.3	706.4	19.9
輸送用機器	17.7	44.9	11.3	246.2	222.5	-9.6
その他投資財	0.3	1.5	506.4	1.7	3.2	84.1
4. 非分類品輸入	0.7	1.9	176.4	11.2	6.8	-39.4
輸入合計	1,293.7	1,710.1	32.2	8,968.3	11,724.8	30.7
うち 非燃料輸入	1,093.4	1,454.0	33.0	7,524.6	9,681.6	28.7

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

【仮訳】

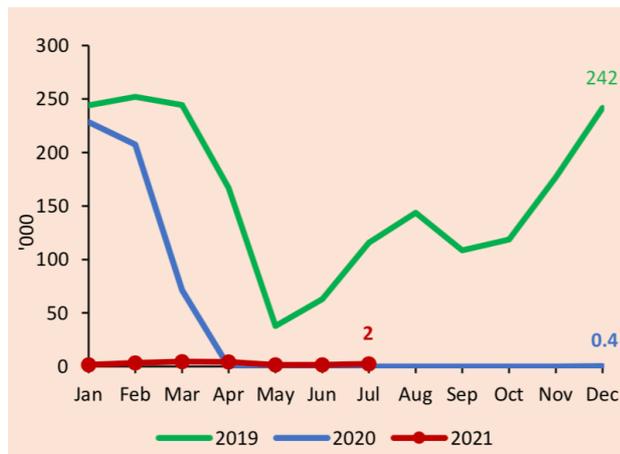
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

2021年7月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は前年同月比で減少。送金額は4.53億米ドル。2021年1～7月累計の送金額は、前年同期比2.6%の微増の37.78億米ドル。

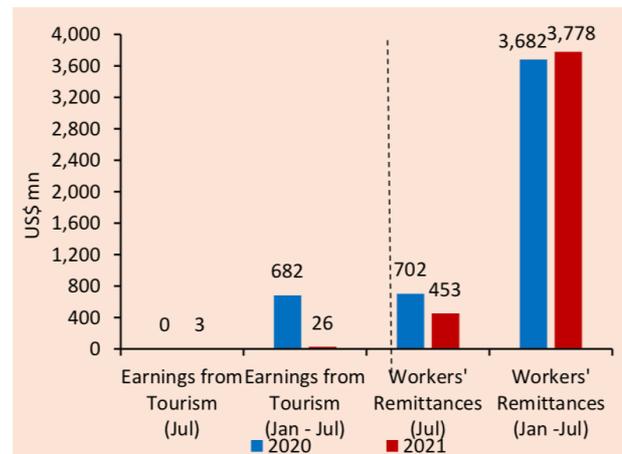
観光セクターは、2021年7月の入国者数は限定的。観光客到着数は前月の1,614人に対し2,429人。2021年1～7月累計の観光客数は19,337人、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、イギリス、モルディブ、アメリカ。観光客到着数から推計される2021年7月の観光収益は300万米ドル。2021年1～7月累計での観光収入は、前年同期の6.82億米ドルに対し、約2,600万米ドルと推定。

図8：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図9：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

資金フロー

2021年7月の政府証券市場では、わずかな純外国投資の流入を記録。2021年1～7月累計での政府証券市場からの累積純流出額は2,400万米ドルで、2021年7月末時点でのエクスポージャー総額は1,200万米ドルと低水準に。一方、2021年7月のコロナ証券取引所（CSE）からの純流出額は4,100万米ドル、2021年1～7月累計では1.65億米ドルの純流出を記録。

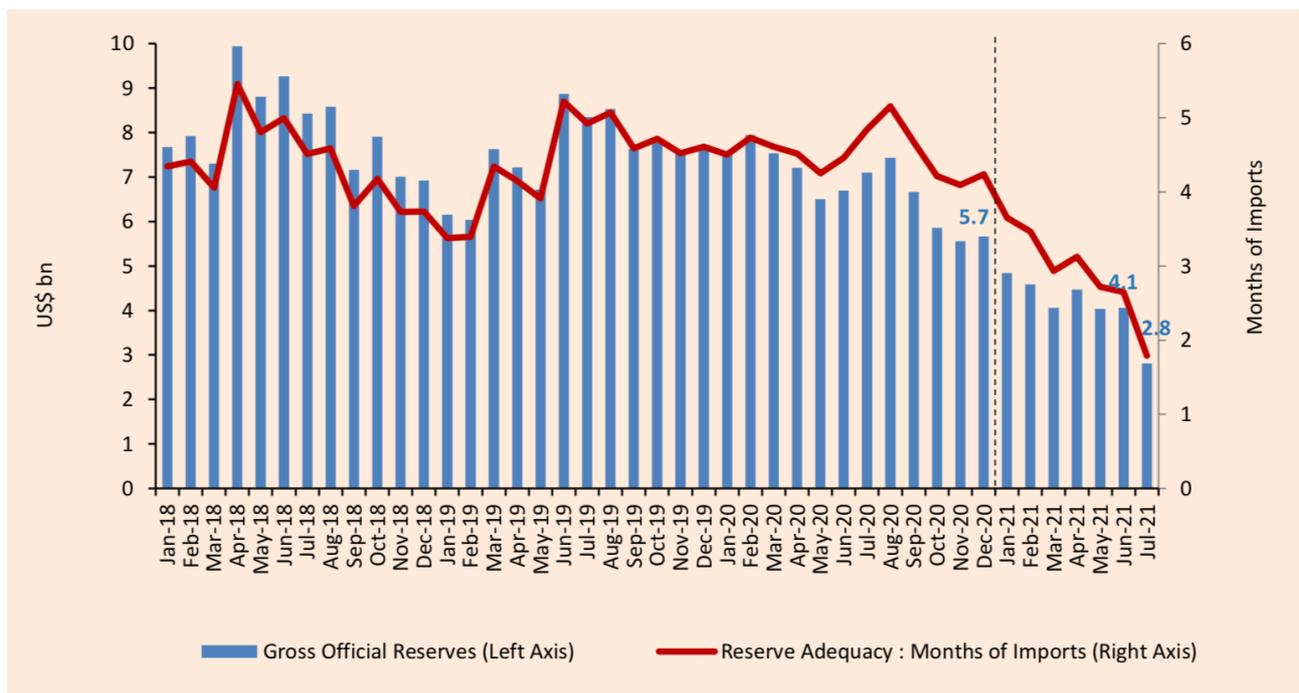
【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

公的準備高

2021年7月末の総公的準備金は、政府に代わって中央銀行が満期を迎えた ISB 10 億米ドルを決済したことにより、28 億米ドルに、輸入の 1.8 か月分に相当。総公的準備金と銀行セクターの外貨資産を合わせた総外貨資産は、2021年7月末時点で 59 億米ドル、輸入の 3.8 か月分をカバー。なお、上記の準備高には、中国人民銀行と中央銀行の間で締結された 100 億元（約 15 億米ドル）の 3 年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。一方で、2021年8月には、国際通貨基金（IMF）の特別引出し権（SDR）の割当てによる収入と、スリランカ中央銀行とバングラデシュ銀行の間の二国間通貨スワップ協定に基づく初期支出を受け、総公的準備高は増加。

図 10：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

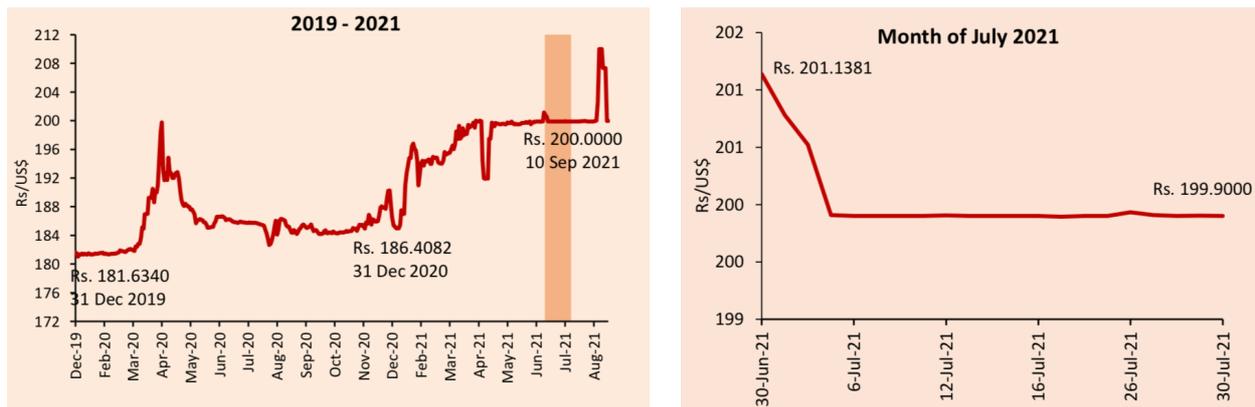
【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

2021年7月のインターバンク市場における加重平均スポット為替レートは、概ね安定。7月のスリランカルピーの対米ドル為替レートは0.6%の小幅な上昇。2021年9月10日までの1年間で、スリランカルピーは対米ドルで6.8%下落。一方、クロス通貨の動きを反映し、2021年1月1日～9月10日までの間、スリランカルピーは、ユーロ、ポンド、日本円、豪ドル、インドルピーに対して下落。中央銀行は、輸出収益や出稼ぎ労働者による国外からの送金の一部を引き続き吸収する一方で、必要な外国為替取引を円滑にするため、IMFのSDR割当てによる資金流入の一部を利用して市場に外国為替の流動性を提供。

図 11：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2019年	2020年	2021年9月10日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	+0.6%	-2.6%	-6.8%
ユーロ	+2.6%	-11.2%	-3.0%
英ポンド	-2.8%	-6.2%	-8.2%
日本円	-1.0%	-7.5%	-0.8%
豪ドル	+1.3%	-11.4%	-2.7%
インドルピー	+2.6%	0.0%	-6.3%

出典：CBSL